

季節の移ろいに心寄せて



2月4日は立春、寒さの中にも少しずつ春の訪れを感じる季節となりました。暦(こよみ)の語源は「けよみ(気読み)」、すなわち自然の変化の気配を読むこととの説がありますが、今日自然の変化に目を向けるゆとりを見出すのはなかなか難しく思われます。せめて、暦に記された季節の言葉をなぞりながら、四季の変化の中でもとりわけ美しい、立春から本格的な春へと向かう自然の移ろいに心寄せてみてはいかがでしょうか。

※2階・図書コーナーにて、お一人様3冊・2週間、貸出しをしています！

2月のオススメ新着図書 (8冊)

戦争とおはぎとグリンピース 西日本新聞社 編



覚悟に満ちた言葉の数々
西日本新聞の女性投稿欄「紅血」に掲載された、「戦争」をテーマにした編を収録。
戦地出発の前日、おはぎを息子に食べさせ、泣き出しそうになった母親。「お国のために」と叫んで特攻した兵士は、母親のおはぎ

を思い出していたかもしれない…。
夫や子どもを奪われ、傷ついた彼らを支え、貧しい生活をやりくりした、女性たちの覚悟や願いが切々と伝わってきます。

折れない心の作り方 ゼラーナ・モントミニー 著



人生が変わるプログラム。
レジリエンスといわれる「復元力」「逆境に立ち向かう力」「折れない心」を身につけるトレーニング方法として、21の要素に分解しまとめた一冊。全米ネットワークTV局の人気情報番組で活躍中の著者が、いろんな意味で不安定で情報があふれている世の中

を、ブレずに自分らしく生きていく方法を教えてください。1日1ステップ×21日間、チャレンジしてみてください。

マイペースで働く!女子のひとり起業 滝岡幸子 著



自分ならではの働き方を!
「好き」なことを仕事にしたい! 育児、介護と仕事を両立させたい! 子育てが一段落した! これまでの経験を仕事に活かしたい!
好きなこと・得意なことで喜んでもらって、お金もキチンと稼ぐ、成功する人が実践している仕事の選び方、時間とお金の使い方などが大公開! 女性の強みを生かして、自分ならではのライフスタイルを築こう。

ルポ 父親たちの葛藤 おおたとしまさ 著



頑張るよりも手放す勇気を
なぜ男性の「家庭進出」が進まないのか。著者は「これまでのイクメンブームの盛り上げ方に短絡的な部分があったと認めざるを得ないのではないか」と問いかけます。
仕事と家庭の板挟みに悩む父親たちの本音、彼らに殺意さえ覚えるという妻たちの本音、理想ばかりを言っていない会社側の本音、世相を物語る数々のデータから、解決の糸口を見い出します。

魂の退社 稲垣えみ子 著



会社を辞めるということ。

アフロでおなじみの、元朝日新聞編集委員稲垣氏が、50歳で特に目的もなく惜しげもなく優良企業を退職し、その顛末を書き下ろした「魂の退社」。

この本は、著者が一度は昭和的な旧来の幸せの価値観にがんじがらめなりながらも、50歳で早期退職に至るまで、ゆっくりと本来の自分を取り戻していくプロセスを丁寧に書いたものです。読んでみると不思議と元気になる本です。

あひる

今村夏子 著



日常にふとさしこむ影

父親の同僚が家の都合で飼えなくなったあひるを引き取った主人公の家族。あひるの名前はのりたま。のりたまを見に来る学校帰りの子どもたちと、その家族の日常を淡々と描いたこの物語。

一見幸せそうにもみえる日常…。でもその奥に潜む危うさが、じわじわと感じられ、何ともいえない余韻が残る感覚を感じてみてください。

第155回芥川賞候補作です。

わたしの暮らし、かえる、かわる。

Emi 著



心のリセット、リフレッシュ

『風姿花伝』に、『時々の初心、忘るべからず』とありますが、その意は、何事にも初々しさ、清々(すがすが)しい、みずみずしい心で緊張感をもって取り組む心掛けと思われま。

日々の生活の時々に、ちょっとした変化を加えることで気持ちをリフレッシュし、いつも新鮮な感覚で暮らししていく工夫やヒントが満載されています。

世再発見 日本の哲学 折口信夫—いきどほる心 木村純二 著



学問が求める直き心

折口の「いきどほり」が向けられた矛先、それは学問をするものの<賢(さか)しき態度>にあります。

『「考える」とは「かむかふ」の意で、「心を素直にして、対象との親密に出会うこと」である』、とは本居宣長の説ですが、

学問の対象に対する謙虚で素直な態度を忘れ、自分の都合に合わせて勝手な解釈をする賢しらな姿勢を、執拗に戒めた折口の思いが伝わります。

「節分考」



立春の前日が節分です。立春は立春正月ともよばれ、暦の上のある意味での新年に当たります。新年が災厄の無い良い年であることを願って、古来よりその前日である節分に「豆まき」をして災いを払っていました。災難をもたらすものを具象化したものが鬼でこの行事を追儼(ついな)式と言います。かつて日本人は、災厄を鬼に見立てて外に打ち払う行事を通して、自らの心に巣くう鬼をも追い払うことをイメージしていたのかもしれませんが。

DVやハラスメント、児童虐待やいじめ問題が喫緊の課題となっている今日、節分の行事のもつ意味について、もう一度考えてみたいものです。



2月の新着図書（全28冊）

No	書名	著者	分類
6879	戦争とおはぎとグリーンピース 書評あり	西日本新聞社/編	女性史
6880	子どもを守る防災手帳	MAMA-PLUG	教育・子育て
6881	未婚当然時代—シングルたちの”絆”のゆくえ	にらさわあきこ	結婚・離婚
6882	折れない心の作り方 書評あり	ゼラーナ・モント ミニー	こころ
6883	頼りになるお医者さんシリーズ 女性のがんの本当の話	仲田洋美	からだ・健康
6884	DVシェルターの女たち	春日野晴子	セクハラ・暴力
6885	憲法と君たち(復刻新装版)	佐藤功/木村草太	法律
6886	マイペースで働く!女子のひとり起業 書評あり	滝岡幸子	仕事
6887	家族で看取るおくりびとの心得10	高丸慶	高齢・福祉
6888	ルポ父親たちの葛藤—仕事と家庭の両立は夢なのか 書評あり	おおた としまさ	男性関連
6889	広がるミサンドリー—ポピュラーカルチャー、メディアにおける男性差別	ナサンソン・ポール/他	男性関連
6890	全盲の僕が弁護士になった理由 - あきらめない心の鍛え方	大胡田誠	生き方
6891	ありのままに、ひたむきに - 不安な今を生きる	大谷光淳	
6892	ノンママという生き方—子のない女はダメですか?	香山リカ	
6893	魂の退社—会社を辞めるということ。 書評あり	稲垣えみ子【著】	
6894	ボブ・ディラン自伝	ボブ・ディラン	自伝・評伝
6895	あひる 書評あり	今村夏子	エッセイ・文学
6896	NHK連続テレビ小説 ベっぴんさん〈上〉	渡辺千穂	
6897	トットちゃんとソウくんの戦争	黒柳徹子/田原総一郎	
6898	いのちのはな	のぶみ	絵本
6899	みるみる絵本 てがみをください	山下明生/村上勉	
6900	わたしの暮らし、かえる、かわる。 書評あり	E m i	その他
6901	再発見 日本の哲学 折口信夫—いきどほる心 書評あり	木村純二	
6902	対話のレッスン—日本人のためのコミュニケーション術	平田オリザ	
6903	限りなく完璧に近い人々 なぜ北欧の暮らしは世界一幸せなのか?	マイケル・ブース	
6904	できる大人のモノの言い方大全	話題の達人倶楽部	
6905	大人のマナー&敬語常識	トキオ・ナレッジ	
6906	不機嫌な長男・長女無責任な末っ子たち	百田達成	



コムズ2階 情報ひろば 利用案内

図書コーナー

- 図書の貸出 (無料)
貸出期間… 2週間
貸出冊数… 3冊まで
- ビデオ・DVDの貸出 (無料)
貸出期間… 1週間
貸出本数… 1本
- 閲 覧
情報広場にある図書・
資料新聞は自由に
閲覧できます

* 貸出にはカードが必要です。

住所が確認できる身分証明書
(免許証・健康保険証など)を
ご持参のうえ、2階受付カウンターにて
お申し込みください。



- お探しの本がない時は…
お探しの本が貸出中の場合
予約することができます
お気軽にお申し出ください

パソコンコーナー

インターネットを利用した
情報収集を支援するため
パソコンを4台設置しています

★パソコンの利用 (有料)

1時間 100円
印刷 片面10円
(A4のみ・白黒)



図書&パソコンコーナー 2月カレンダー

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6 休館日	7	8	9	10	11 建国記念 の日	12
13 休館日	14	15	16	17	18	19
20 休館日	21	22	23	24 休館日	25	26
27 休館日	28					

☆利用時間☆

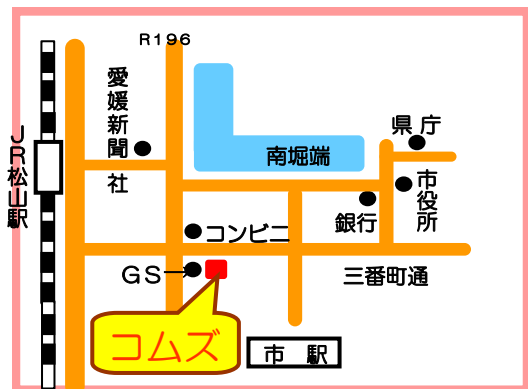
火曜日～土曜日
9:00～20:30

日曜・祝日
9:00～17:00

休室日

☆休室日☆

- ・ 毎週 月曜日(休館日)
月曜日が祝日の場合は翌日
- ・ 毎月 第4金曜日
(図書点検・整理)
- ・ 年末年始
(12月29日～1月3日)



【お問い合わせ】

〒790-0003
松山市三番町6丁目4-20
松山市男女共同参画推進センター・コムズ
TEL 943-5780 (図書コーナー直通)
FAX 943-0460
<http://www.coms.or.jp>

Facebookも
見てね♪

